重の機要

平成28年度の一般会計・特別会計・水道事業会計 の決算が、市議会(第3回定例会)で認定されました。 市の予算がどのように使われて、市の財政がどの ような状況にあるかをお知らせします。

問 伊奈庁舎財政課 ☎58 - 2111 (内線2203)

■歳入歳出の差引額 10億9,037万円

うち、次年度も継続して事業を実施するための財源 (中学校大規模改修工事など) …4億1,990万円 ◎翌年度に繰り越しする額…6億7,047万円

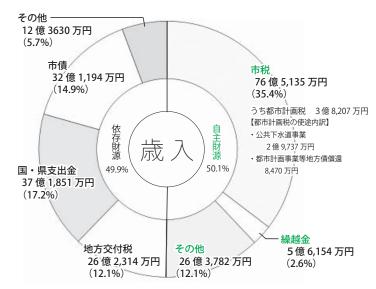
205 億 5,023 万円 歳出

[前年比 2.4% 増]

その他・ 5億6,702万円(2.8%) (議会運営、商工振興などの費用) 総務費 24 億 7,610 万円 (12.0%) (市役所管理などの費用) 15 億 5,418 万円 (7.6%) (市債の返済金) 50 億 4,037 万円 (24.5%) 歳 民生費 (学校、公民館、図書館などの費用) 58 億 8,394 万円(28.6%) (福祉、子育でなどの費用) 消防費 8億7,533万円(4.3%) (消防、防災などの費用) 衛牛書 10 億 6,356 万円 (5.2%) 土木費 農林水産業費 24 億 1,396 万円(11.7%) (健康診断、ごみ処理、放射能対策などの費用) 6億7,577万円(3.3%) (道路、公園、都市計画などの費用) (農業振興などの費用)

216 億 4,060 万円 [前年比 4.8% 增]

- ■自主財源…皆さんから納めていただいた税金など
- ■依存財源…国や県から交付されるお金や借入金など



■公営企業会計決算総括表

会計名	区分		決算額
水道事業	収益的収支	収入	15億0,228万円
	拟鱼叫牧文	支出	12億4,997万円
	資本的収支	収入	7億0,777万円
		支出	14億6,770万円

水道事業会計は、公営企業会計です。「収益的収支 (水道水を届けるために必要な経費と財源)」と「資 本的収支(施設を整備拡充するために必要な経費 と財源)」の2つに分けています。資本的収支の不 足分は、積立金などで補いました。

■平成28年度特別会計決算総括表

1790=012(1993)2(1790)1/83(12)			
会計名	歳入	歳出	
国民健康保険	60億3,328万円	58億1,474万円	
後期高齢者医療	4億1,672万円	4億1,502万円	
介護保険	34億5,794万円	32億6,580万円	
公共下水道事業	11億2,607万円	10億5,498万円	
農業集落排水事業	4億4,066万円	4億1,350万円	
市営分譲住宅	4,244万円	4,124万円	

また、公債費 6 對であり、 加が見込まれるため、 は厳しくなります 市 |債の返 今後、 済

済

費が設は、 順となっています で 2 5023万円となり、 、ます で教育費、 0 ・6割を占めており、 0 福祉などの費用 億円を超えています 総務費、 決算額が205億 土木費 3年連 の民 次

占めていま 出 も大きな割合を占めて 金 般会計におい 地方交付税の順 決算額の 次いで国 35 となっ いるも 歳 4 営を 入で最 県支